

<スクールアルバム>

小学部の新入生歓迎行事はソレイユの丘で思いっきり遊びました！



玉ねぎの収穫。新校舎の資金作りで、絶賛販売中！



全校生徒で、天園ハイキングコースを経て北鎌倉の星野富弘展へ！
↓富弘さんの生涯の動画を視聴中。



中高生の TCU 体験授業—MT 先生の「国際協力」、貧困とはそもそも何か



お願い・ご報告

- 5月の行事は守られ、祝福されました。皆さまのお祈り、ご協力に感謝いたします。
- 6月16日(月)～7月5日(土)、ASさん(高2)、HEさん(中3)は、交流提携校のヤダインターナショナルクリスチアンスクール(韓国)に短期留学します。石川優実先生も同行します。祝福をお祈りください。
- 7月の主な予定をご確認ください。

- 5日(土) 小学部登校日(オーケストラ公開リハーサル見学予定) *代休18日(金)
- 14日(月) 5時間授業(下校14時30分)*スタッフ研修会
- 15日(火) 通常授業・昼食終了
- 16日(水)、17日(木) 特別授業(下校12時30分)
*行事の関係で下校時間を変更する場合があります。
- 18日(金) 代休(休校日)*スタッフ特別支援研修会
- 19日(土) 9時～11時 スタッフ・保護者清掃(*皆さんの参加をお願いします。)
- 22日(火) 中学部・高等部登校日(矢島幼稚園夏祭り準備) *代休18日(金)
- 23日(水) 矢島幼稚園夏祭り(*校舎建設の資金作りのために出店予定ですので、ご協力をお願いします。)
- 22日(月)～8月31日(土) 夏休み

今月のみことば(暗唱聖句)

「あなたがたの思い煩いを。いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです」第1ペテロ5:7

「casting all your care upon Him, for He cares for you.」1 Peter 5:7

英語でも覚えましょう

祈祷課題

- 1、スクール関係者すべてが神の愛と守りと喜びに満たされるように。
- 2、スタッフ一人ひとりが主からの知恵と愛をいただき指導にあたることができるように。
- 3、あらゆる困難を乗り越え、資金も満たされ新校舎が建設されるように。さらに学校法人を取得でき、学びの多様化学校として整えられるように。



のあインターナショナルスクール スクール通信 6月号

2025.Jun. 1

VOI.214

〒247-0024 横浜市区野七里一丁目 37-10

TEL:045-891-9982 FAX:045-895-3761

「感謝なことは、全部です！」

小学部担任 脇阪はんな

小学部1～4年クラスの帰りの会では、1日を振り返って神様に感謝したいことを一人ずつ発表します。その時の生徒たちは喜んでいきいきしていて、司会の人「今日の感謝を言いたい人～」と声をかけると、次々、というよりほとんど同時に手が上がります。「〇〇の授業が楽しかったです」「お弁当がおいしかったです！」「休み時間に裏山に行けたこと」など、それぞれ素直な感謝の言葉が出てきて、聞いている私も嬉しくなります。なかには、「今度の授業が楽しみです」「遠足が楽しみです」などの感謝もあり、「確かに、これから楽しいことが与えられているのも感謝だな」と思われます。また、生徒たちの感謝は一つとは限らず、「お弁当と～、昼休みと～、〇〇の授業と…」と思いがあふれているうちに、自分の番を待っている他の生徒から「まだあるの～？」と声上がることもあります。潔く「今日の感謝は、全部です！」と言う生徒もいます。（それに続いて、「特に、〇〇です」と教えてくれることもあります。）

生徒たちの発表が一通り終わると、「先生、どうぞ」と私にも順番を回してくれるのですが、私は生徒たちのように素直に、そして即座に、これが感謝！と言えない時がありました。大抵は、朝から慌ただしく過ごしていて、「今日はどんなことがあったっけ…」としばらく考えないと思いつけなかったからです。しかし、そのような時だけでなく、「あの授業はあまり上手いかなかったな」と失敗に感じるような出来事や、悩みごとや不安なことがある日も、感謝なことが何もないように感じました。落ち着いて考えれば、感謝したいことはあるのですが、ネガティブな思いに目を向けていると、感謝なことが見えにくくなります。生徒たちのように「全部感謝です！」と言うことは、さらに難しく感じたのです。

スクールでの生活に限らず、私たちの日常生活のなかで、また社会で起きていることに対しても、感謝できないどころか、「神様、どうしてこんなことになるのですか」と言いたくなるような出来事に直面することがあります。自分にとって良い出来事は感謝できても、苦しい出来事も含めすべてのことに感謝するのはとても難しいです。しかし、みことばでは、神様にすべてのことを感謝するようにと励まされています。

いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって、父である神に感謝しなさい。 エペソ 5章 20節

すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。 Iテサロニケ 5章 18節

神様への感謝を意識すると、「どうして」と思うような出来事のなかにも、実は神様の守り、助けがあったことに気づきました。そして、神様は理由があってこの経験を与えられたのだな、と思われました。イエス様にあって神様の子どもとされる私たちは、天のお父さんである神様が良いものを与えてくださると信頼して、すべてを感謝して受け取ることができます。

神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何もありません。 Iテモテ 4章 4節

6月のカレンダー

日	月	火	水
1日 Tさん誕生日	2日 代休 Fさん誕生日	3日	4日 合同礼拝（1限） 検尿② Kさん誕生日
8日	9日 ←	10日 前期中間テスト期間（中高等部）	11日 小学部・中高等部礼拝（1限） 特別授業「視覚障害理解」
15日 Sさん誕生日	16日 Kさん誕生日	17日 スポーツ大会（2～4限 予備日：20日（金））	18日 スクール開校記念日（休校）
22日	23日	24日	25日 学校法人化に向けての祈り会（1限） 特別授業（テコンドー教室）
29日	30日	31日	

- ・2日（月）は、オープンスクール、ペアレンツデイの代休で休校となります。
- ・4日（水）、尿検査②を実施します。①で提出できなかった人は、必ず9時までに忘れずに提出してください。
- ・9日（月）～13日（金）は、前期中間テスト週間（中高等部）です。生徒の皆さんは学習した内容をもう一度確認し、テストに臨んでください。ご家庭におかれましては、励ましをお願いします。
- ・11日（水）、視覚障害理解のための特別授業を行います。講師は、KH先生です。
- ・17日（火）2～4限、スポーツ大会を行います。大縄、ドロケイ、借り物競争など、全学年で楽しく取り組める内容です。借り物競争は、保護者の方も是非ご参加ください。なお、雨天の場合は、通常授業を行い、スポーツ大会は20日（金）に延期します。
- ・18日（水）は、スクール開校記念日で休校です。
- ・25日（水）、学校法人化に向けて全校で祈り会を行います。保護者・スタッフの皆さんもぜひ集まってください。祈り会后、ダイヤモンドチャペルに移動し、特別授業として、小学部・中高等部に分れて、テコンドー教室を行います。講師は、HSさん(サラ先生のご紹介)です。
- ・保護者、スタッフ向けバイブルタイムを毎週木曜日に行っています。子ども達が日々恵みをいただいている聖書の言葉を一緒に味わっていきましょう。初めての方も大歓迎です。5日（木）、12日（木）、19日（木）、26日（木）の13時30分～、場所はのあISの小学B教室です。お問い合わせは鈴木まで。
- ・校舎建設資金作りのための作業手伝い2回目を、27日（金）12時～14時、別館にて予定しています。詳細は後日お知らせします。

木	金	土
5 日 保護者、スタッフ向けバブルタイム	6 日 委員会活動（6 限）	7 日
12 日 保護者、スタッフ向けバブルタイム 愛奈さん誕生日	13 日 クラブ活動（6 限）	14 日
19 日 保護者、スタッフ向けバブルタイム	20 日 （スポーツ大会予備日） クラブ活動（6 限）	21 日
26 日 保護者、スタッフ向けバブルタイム	27 日 クラブ活動（6 限） 資金作りのための作業手伝い（保護者） （12 時～14 時）	28 日



子育てnote お子さんと、会話を、たくさんしておられますか？

1872 年、インド北部ウッタルプラデーシュ州のジャングルで、ハンターのグループが不思議な光景を目撃しました。そこでは 6 歳くらいの子供がオオカミの群れに混じり、這い回っていたのです。ハンターはオオカミを撃ち殺し、男の子を救い出しました。その男の子は文字通り、オオカミによって育てられた子供で、その後、愛情深い人たちによってケアされましたが、「人」になることはありませんでした。人を育てるのは、人なのです。人間として生まれたから、自動的に「人」になるわけではありません。家庭の交わりの質が、そこで成長する「人」の質を決定していきます。家庭の中で育まれて、子供は「人」になっていきます。子育てにおいては、私たち親の人間性が問われます。実は、私たち親自身が、自分の霊の父である方との交わりを、とても必要としているのです。神は、私たちをご自身のかたちに似せて創造されました（創世記 1 章 27 節）。土から造られた人間に、神がご自身の息（霊）を吹き込んだので、人は神のかたちに似たものとなりました（創世記 2 章 7 節）。ですから、人にとっては、神こそが自分の霊の命の父なのです。子供たちにとって親との関わりがとても大切であるように、親である私たちも自分の霊の父である方との交わりが必要です。

子供の心は、主に家庭の中の会話によって形成されていきます。ですから、家庭の中で、できるだけたくさん会話してください。高校生になると、子供達は次第に親離れしていきます。子供が小中学生のうかが鍵です。親子で、できるだけたくさんの、良い思い出を作ってください。日常生活の中では、様々なことが起こりますが、それら一つひとつに、親がどう対応していくかが問われます。親が完全である必要はありませんが、誠実である必要があります。困難な時や問題に直面した時には、親自身の創造主である方を仰ぎ見てください。私たちを創造された方は、父と呼ばれることを喜ばれます。この方に、忍耐して信頼し待ち望む時、解決は必ず与えられます。そのような平安を、親子で一緒に共有することも大切です。神との交わりは、私たちの心に愛と喜び、そして平安を形成していきます。

校長 月井博

